

そ ホウ素

■ 用語解説 ■

ホウ素は硬くて脆い黒色固体元素で、ダイヤモンドに次ぐ硬度9.3である。ホウ素は、地中や海水中に存在し、単体で使用されることは少なく、化合物や合金の形で利用され植物及び動物にとっては必須の元素である。用途は、P型半導体のダイオードやトランジスタ、鉄合金等の硬さ増加剤、原子炉内の中性子吸収用制御棒、ガラスや陶器のエナメル合成、着火防止剤、燃料合成等に使用されている。人体の影響としては、中枢神経障害が知られている。